

RPPC メールマガジン 第 856 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 1 月 20 日）

■事務局からのお知らせ

1) NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付しました。

2) 第 2 回 国際資源循環部会

日時：令和 3 年 1 月 25 日（月）15:00～16:30

会場：スタンダード会議室 虎の門ヒルズ駅前店 4 階

<https://spaceuse.co.jp/toranomon/shintoranomon/index.html>

※WEB 会議併用（Cisco Webex）

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 清水港改訂計画案、袖師地区に循環資源輸送バース

静岡県港湾局は清水港の次期改訂計画（案）をまとめた。1 月末までパブリックコメントを実施中で、同意見も踏まえ 2 月 3 日に地方港湾審議会を開催し、3 月開催予定の国土交通省交通政策審議会港湾分科会に諮り計画決定していく。

静岡県では令和元年 8 月に概ね 20 年後の清水港の姿を描いた長期構想「スマートガーデンポート清水」を策定しており、今回の改訂計画は同構想を踏まえ概ね 10 年～15 年後までに取組む清水港の計画を示したものとなっている。物流関係として新興津地区の大水深多目的国際コンテナターミナルの機能強化として、既設バースと連続する水深 15m 岸壁 1 バースを新たに位置付けているほか、興津地区は水深 12m 3 バースが連続する RORO 専用ふ頭に再編する。

また袖師地区では循環資源輸送の大型バルク船受け入れ等に向け、水深 12m 岸壁、10m 岸壁各 1 バースを新たに計画している。第 2 ふ頭を延伸し、右側に水深 12m 岸壁 1 バース延長 230m を整備して化学製品や石油等を取扱う大型バルクバースに対応。また左側には水深 10m 延長 190m 1 バースを計画し、循環資源の外内貿貨物を取扱う公共ふ頭を整備する。

2.港湾局水素社会へ港湾機能高度化、今月からCNP検討会開催

政府は脱炭素化、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組みを重点テーマに掲げ、企業等では関連する組織強化や研究開発など、それに向けた対応を始めつつある。化石燃料から水素やアンモニア等、二酸化炭素を出さない新たなエネルギーに転換する動きだが、現実には輸入量や需要の規模、また経済性のある購入価格、輸送費などは殆ど分かっておらず、各企業とも手探りの状態と言える。ただ同分野の検討にあたってはまず、海外から水素等エネルギーを受け入れる唯一の窓口となる港湾をどのように転換し効果的な施設、機能を整えるかが重要になる。このため国土交通省港湾局は、港湾が担う役割や企業間のマッチング等の基礎的議論を行う「カーボンニュートラルポート（CNP）検討会」を設置することとしており、小名浜港、横浜・川崎港、新潟港、名古屋港、神戸港、徳山下松港の6地区を指定し今月から検討を開始する。そして令和2年度内にCNP形成のためのマニュアルを作成し、港湾における役割や取り組むべきテーマなどを打ち出し、自治体や産業界など関係機関と連携してカーボンニュートラルを先導していく。

我が国では港湾を核とする臨海部に発電所や製油所、鉄鋼業などエネルギー消費型産業の殆どが立地しており、そのCO₂排出量は国全体の約65%を占めている。また日本の総貿易量の99.6%は港湾を通じてのものであり、輸送面と港湾・臨海部が持つ空間という二つの機能は、カーボンニュートラルの具体化にあたって極めて重要な役割を担う。

このうち輸送機能では、港湾を通じて液化水素などを海外から海上輸送し、エネルギーステーションに供給・貯蔵することになるが、新しい輸送形態に応じた岸壁形態をどうするのか、大型船への対応が可能な岸壁や荷役の在り方などの検討が必要になる。また空間機能では需要に見合った貯蔵タンク等をどのように確保、あるいは現在の石油コンビナート群を水素コンビナートに転換していくのかなどがテーマになる。

3.室蘭港長期構想を策定、新規岸壁、埠頭確保等

室蘭市は室蘭港の20年～30年後の開発、利用、保全の方向性を示した「室蘭港長期構想」を策定した。同長期構想を基に10年～15年後を見通した新たな港湾計画の策定作業を進めて行く。

長期構想では▽ものづくりを支える物流・産業拠点、▽新たなエネルギー産業の集積を図るグリーンエネルギー拠点、▽循環型社会に対応し、環境にやさしい港など5つの分野の将来像を掲げ、各分野でこれらの実現に向けた取組みの方針等を示している。

このうち▽ものづくりを支える物流・産業拠点では、「地域産業の競争力強化に資する物流基盤の強化」を特に重要な取組み方針として位置づけ、概ね5年～15年を目途とした中期的な施策として、企業集積地の間にある御崎地区に公共岸壁及び臨港道路を整備する施

策や、築地地区で楕円形状の岸壁を埋め立て新ふ頭用地を確保する施策等を盛り込んでい
る。

※港湾空港タイムス 1月 18 日号等から編集

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡く
ださい。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください